

夏場の火の取り扱いに注意

夏場は花火やバーベキューなど、火を使うことが多く、不注意による事故が多発します。

火災やけがなどの事故が起こらないよう注意し、ルールとマナーを守って楽しい夏にしましょう。

■ 発電機は給油時に停止させる

ガソリンの引火点は、マイナス40度です。給油中にこぼれたガソリンが発電機のマフラーなどにかかるると発火する危険があります。発電機を停止させて、しばらく冷ましてから給油してください。

■ 間違った使い方でカセットボンベが爆発

カセットコンロ使用時に、大きな鉄板や鍋などを乗せないでください。熱がこもりやすく、カセットボンベが加熱され、爆発することがあります。

■ 露店などの届出

この夏、祭礼や縁日など多くの人が集まる催しで、火気を使用する露店などを開設する場合は、開設の3日前までに「露店等の開設届出書」を管轄の消防署または分署へ2部提出してください。(例：自治会などの夏祭り、ガスコンロなど火を使う露店を出店する場合など)

彦根防火保安協会からのお知らせ

危険物取扱者試験(乙種第4類) 予備講習会

📅 9月11日(日) 9:00～17:00

📍 消防本部(西今町) 大会議室 定員 50人(先着順)

👉 5,000円(彦根防火保安協会会員事業所は3,000円)

※テキスト代は別途

📅 8月15日(月)～9月9日(金)に講習費用を添えて直接窓口

📍 彦根防火保安協会(〒522-0054 西今町415 彦根市消防本部消防総務課内) ☎22-0314 FAX 22-9427

チケット情報

ひこね市文化プラザ

9月29日(木)18:00 グランドホール

NHK公開番組「新・BS日本のうた」観覧募集

主催: NHK大津放送局 彦根市

出演: 葵かを里、石原 詢子、おおい 大輔、上沼 恵美子、クミコ、香西 かおり、成世 昌平、美貴 じゅん子、山内 恵介、山崎 ていじ(五十音順)

観覧募集: 8月1日(月)午前11時～9月5日(月)正午しめきり

入場は無料ですが、事前のお申込みが必要です。NHK大津放送局のイベントページからNHKサイトの専用申し込みフォームにお申し込みください。

※往復はがきでの応募はありません。

PC・スマホサイト <https://www.nhk.or.jp/otsu/>

●応募多数の場合は抽選のうえ、当選の方には、9月13日(火)に入場整理券(2人まで)を送付します。落選された方には、9月14日(水)午後3時以降に、落選通知メールをお送りします。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お客様同士の間隔をとった座席を入場整理券で事前に指定させていただきます。●当選はお1人様につき1件とさせていただきます。

問い合わせ

NHK大津放送局 ☎077-522-5101 (平日 10:00～17:00)

ひこね市文化プラザ ☎26-8601 (9:00～22:00) 月曜休館

9月3日(土)10:15/13:00 エコーホール

ベビーといっしょにコンサート2022

出演: アンサンブル MUSE(高木充江、山本哲子、辻寛子、今堀智子)、森有子(手あそび)

【自由】【好評発売中】 一般500円、友の会450円

※大人1人につき未就学児2人まで無料

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)

チケットはインターネットでもご購入いただけます。 <https://funpla.jp/>

8月の休館日: 1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】

※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。

※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の表示の設置

みずほ文化センター

8月20日(土)14:00 多目的ホール 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

彦根亭 みずほ密席 vol.44「葉内公演」

出演: 漫談/ふじいもやし 漫才/オーパスツ

落語/笑福亭呂翔、笑福亭瓶吾

【自由】【好評発売中】 前売500円、当日600円

9月25日(日)14:00 多目的ホール 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

滋賀県アートコラボレーション事業

スティールパンオーケストラ+アニソン+ダンス ライブ

出演: スティールパン PAN NOTE MAGIC、アニソン 堀江美都子、

ダンス NAOTO&Dimple's

【自由】【好評発売中】

一般・前売2,000円、当日2,500円

青少年(25歳未満)・前売1,000円 当日1,500円

「世界で最も人の心を癒やす音色」として注目されるドラム缶から生まれた楽器スティールパン。そのスティールパンの演奏にアニソンやタップ&ストリートダンスをプラスしたオリジナル企画です。

※スティールパンに触られるワークショップも開催! 詳しくはみずほ文化センターまで。



申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター

☎43-8111 (9:00～17:00)

8月の休館日: 2日(火)、9日(火)、12日(金)、16日(火)、23日(火)、30日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。

◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。

子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。



8月31日(水)まで

「彦根藩の足軽 一歩兵たちの近世」

戦乱の世に、鉄砲や弓などで戦った歩兵の足軽。太平の世となった近世、彦根藩の足軽は日々の軍事訓練に加え、藩政のさまざまな実務を担い、幕末期には再び戦場で活躍しました。本展では、古文書や足軽の武器・武具などから、その多様な実態と特質に迫ります。



▲足軽組諸届・願書留 (個人蔵)



▲大坂夏の陣図(部分)

常設展示「“ほんもの”との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

8月31日(水)まで

湖東焼 赤絵金彩翡翠図建水 鳴鳳作

抹茶を点てる際に用いる建水という茶道具で、使った水を捨てる器です。本品は、江戸時代後期に彦根城下で制作された湖東焼で、名工として知られる鳴鳳の華麗な絵付けが映える優品です。



▲赤絵金彩翡翠図建水

【休館日のお知らせ】9月1日(木)～9月7日(水)



▲足軽組諸届・願書留(個人蔵)

「足軽」と聞くと、戦乱の世に戦陣を駆けまわった歩兵といった印象を持つ方もいるかと思いますが、では、太平の世となった江戸時代、彼らは日々どのような仕事をしていたのでしょうか。ここでは、彦根藩の足軽が文政2年(1819)から明治元年(1868)に提出した願書などを写し留めた帳面「足軽組諸届・願書留(個人蔵)」から、平和な時代における彼らの働きの一断面を紹介いたします。

江戸時代、彦根藩では1000人を超える足軽を抱え、1組20人から50人の足軽で構成される足軽組が編制されました(合計で37組)。各組には、手代と呼ばれる組の代表者2人が置かれ、組内の届書や願書の取りまとめなどの人事管理を担いました。写真は、文政2年に手代である沢五平が「番上がり」(長年の勤続により、隠居役として彦根城下や城下の門番に就くことを願い出した際に添付した自身の履歴書です。と、虫損で

写真の古文書は、企画展「彦根藩の足軽一歩兵たちの近世」で8月31日(水)まで展示します。

断定できない部分もありますが、彼は天明元年(1781)に足軽組に入った後、寛政2年(1790)から享和2年(1802)までは町奉行所に出向して役所勤め、享和2年から翌年までは御国産方(藩内の特産品などの生産・販売を統括した機関)に出向して役所勤めをしました。その後現在(文政2年)に至るまで手代役を担ってきたことがうかがえます。ここで注目したいのは、沢が自身の履歴として諸役所への出向を経歴に挙げている点です。平和な時代となり、兵士としての武功に限らず、役所勤めの実績が評価される、こうした情勢の中に足軽が位置付けられるようになったことがここから読み取れるのです。

彦根藩の足軽の中には、沢五平のように、藩の諸役所に出向して役所勤めをする者が他にもおり、その数は各組3割程にのぼると想定されます。また、この他の足軽たちも、夜廻りなどの城下の治安維持をはじめ、彦根城の石垣修復や城内の草むしり、大雪の日には除雪に従事するなど、藩政の様々な実務を担っていたのです。

【彦根城博物館学芸員 北野智也】

江戸時代における彦根藩の足軽の働き

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ